寄居町の今とこれから 一般質問

今回は10名の議員が質問しました

寄居町のさまざまな課題等について、議員が町に考えを聞くのが一般質問。議員は政策提言も含めて質問することができ、内容は自由です。ここでは、全質問項目（下表）と質問した議員ごとに1項目を要約版でお知らせします。

町の姿勢・行政運営	婚活支援イベント「よりい街コン」	神　田	P. 8
	県の里山・平地林再生事業に対する町の取り組み	中　嶋	
	農業政策	大　澤	P.10
	国民健康保険税等	大　澤	
	「よりい街コン」	岡　本	
まちづくり・くらし	雀の宮公園東側の荒川への進入路	神　田	
	プラス1000歩運動とふるさと歩道	中　嶋	P. 9
	ごみの分別化・資源化の取り組み	佐　藤	
	公共施設の利用	田母神	
	消防団員確保対策	津久井	
	寄居ＰＡスマートＩＣ	津久井	
	玉淀の再開発	石　井	
	用土コミュニティセンターの建て替え	岡　本	
	公共施設へのシャワートイレ設置	岡　本	
教育	学力向上の取り組み	佐　藤	P. 9
	教育環境	大　澤	
	小中学生の学力の現状と向上対策	峯　岸	P.11
	自転車保険	津久井	P.11
	教育振興	岡　本	P.13
福祉・医療	介護保険制度	田母神	P.10
	コンビニエンスストアへのＡＥＤ（自動体外式除細動器）設置	石　井	P.12
	引きこもりの社会復帰支援	鈴　木	P.12
	ジェネリック医薬品のさらなる普及促進	鈴　木	

婚活支援イベント「街コン」の今後は

神田崇議員（かんだ たかし）

Takashi Kanda

答弁　今回の実績をふまえ事業の促進をします

婚活支援イベント

問　婚活支援イベント「よりい街コン」は、花輪町長の「寄居町創生戦略プロジェクト」の中でも実施が明言された経緯もあり、関係各位のご尽力で、結果として9組のカップルが誕生したことは大変喜ばしく思います。町は商工会からの補助申請を受け、この企画の方向性や目的をどのように評価したのですか。

答　「街コン」と「街バル」（＊2）をあわせて開催することで、町内飲食店の活性化とともに、出会いの場を提供し、さらには人口減少対策にもつながる事業であると考え、補助を決定しました。

問　町として支援した補助金額や支援内容について伺います。

答　「街コン」と「街バル」合わせて18万円を補助し、広報誌などで参加者の呼びかけを行ったほか、当日は職員を派遣しました。

事業継続にさらなる支援体制を

問　今後の事業継続に関しては、人口減少の危機的な状況を受け止め、官民一体となって積極的な支援体制を整えるべきと考えます。また、参加者の町内外の割合を伺います。

答　関係者の一生懸命な取り組みが何よりの町のイメージアップにつながると思いますので、このような事業を通じて、寄居町に目を向けてくれた皆さんが「寄居町に住みたい」と思っていただけるよう、さまざまな視点から検討します。なお、参加者90名のうち、40%が町内の方でした。

街コンを支えた商工会を中心としたスタッフ

ひと言　（＊2）街コン・街バル…街コンは出会いをテーマに、街バルは飲食店の集客支援を目的にした、街ぐるみのイベントです。寄居町では、2015年10月31日に「ハロウィンだよ！よりい街コン」、10月31日～11月7日に「よりい街バル」が開かれました。

次のページも

町に考えを聞く　一般質問

農業の活性化―介護保険―STOP!!学力低下―自転車保険

中学生対象の無料学習支援の導入を

佐藤理美議員（さとう りみ）

Rimi Sato

答弁　学習支援の取り組み拡大を研究します

学力向上支援

問　平成28年4月から、町内全中学校において、3学期制へと移行しますが、導入の経緯を伺います。

答　校長会より、3学期制に移行したいとの要望が教育委員会にあり、保護者・教員の意向を確認するため、アンケート調査を実施し、その結果を踏まえた上での導入となりました。

問　県教育委員会の定例会見では、平成27年度の全国学力学習状況調査において、埼玉県が全教科で全国平均正答率を下回ったことを受け、市町村教育委員会に「重点取り組み」を求めた方針を示しました。そこで、全国学力学習状況調査の結果を踏まえ、課題と今後の対策について伺います。

答　結果の分析により、必要な情報を読み取ることや、考えの理由を説明することなどが、全国の正答率を大きく下回っている状況です。課題の解決に向け、授業の改善や家庭学習の充実に取り組んでいます。

熊谷市の取り組みを参考にして

問　熊谷市が、学力ナンバー1を目指し、本年6月より実施している「くまなびスクール」（中学生を対象とした無料学習支援）の導入の考えについて伺います。また、熊谷市では、全中学校共通のドリルによって支援しています。

答　校長会を通じての補充学習の実施、地域の方による補充教室の実施をしている学校もあることから、今後はこのような学習支援の取り組みを他の中学校にも拡大できるよう、研究していきます。町内では小学校で問題集をつくり、活用しています。中学校でも役立つものを研究したいと思います。

市内の中学校共通の「くまなびテキスト」

河辺部の整備が待たれる遊歩道

遊歩道の整備

問　町では、多くの遊歩道が整備されています。遊歩道を「プラス1000歩運動」（＊3）のコースとして活用することは、運動の成果が期待できます。しかし、一部の遊歩道では篠や竹が繁茂し、あまり利用されていません。荒川河辺部コースは、鉢形河原から立ヶ瀬河原を経て川の博物館までのコースですが、清流と川の中の岩とのコントラストがすばらしく、町を代表する景観でありながら篠と竹に覆われています。また、鉢形河原と立ヶ瀬河原の間が岩場となっており、直接河辺部が結ばれていません。篠や竹を取り除き、すばらしい景観を復活させ、河辺部を直接通れるようにする整備について伺います。

答　ハイキングコースでは除草などを行っています。木の枝が覆い被さっている箇所など個人所有地もあり、山側は岩まじりで崩れやすいなど課題も多いので、今後安全性を確認しながら整備を検討します。

天神山コース、階段の整備は

問　天神山コースで、天神山に登る丸太の階段が腐りかけています。階段や坂道を利用することは、「プラス1000歩運動」に役立ち、体力増強に有効と思いますが、整備について伺います。

答　階段の丸太が朽ちて歩きづらい部分もあることは承知しており、危険な箇所など優先度を考えながら、親しみやすく利用しやすいコースとなるよう努めます。

プラス1000歩に有効な遊歩道整備を

中嶋文雄議員（なかじま ふみお）

Fumio Nakajima

答弁　危険な箇所を優先し整備を検討します

ことば　（＊3）プラス1000歩運動…町民・在勤者を対象に、普段より少し多く“歩く”意識をし「プラス1000歩多く歩く」目標で毎日取り組んでいただく健康づくり運動。平成27年9月から約500名参加し、実施されています。